

(発行)
 石川県金沢市赤土町ニ13-1
 石川県リハビリテーションセンター内
 石川県高次脳機能障害相談・支援センター
 電話 076-266-2188

石川県 高次脳機能障害相談・支援センターニュース

はじめに

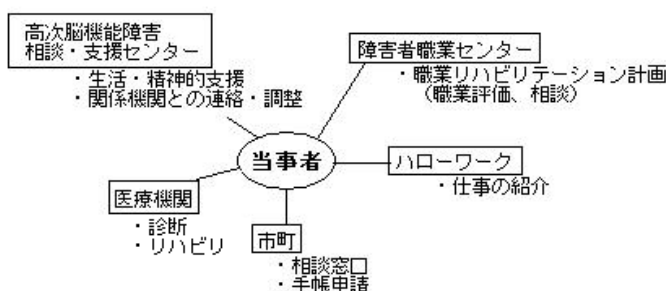
石川県高次脳機能障害相談・支援センターを開設して、早4年目を迎えようとしています。しかし、高次脳機能障害があるご本人やそのご家族から多くご相談が寄せられる一方で、高次脳機能障害という障害が、まだ一般には十分に知られていないという印象を受けます。当センターでは、より多くの方に高次脳機能障害について知ってもらい、高次脳機能障害の方が住みやすい地域となるよう、今後も普及啓発活動に力を入れていきたいと考えております。

また、関係機関との連携という面では、退院後のフォローに向けて医療機関からご連絡をいただき、当センターにつながるケースもあります。

また、最近の傾向としては、就労に向けて障害者職業センター等とも連携しながら支援させていただいているケースが増えてきております。

今後も引き続き、生活面への支援はもちろん、就労支援についても力を入れていきたいと考えております。そのためにも、関係機関との連携による、途切れない支援が必要となります。

今後とも何卒よろしくお願いたします。



家族教室

プログラム

回	日時	時間	内容	講師
1	平成22年 7月14日(水)	13:30~ 15:00	・高次脳機能障害とは ・家族会紹介	・リハビリテーションセンター 作業療法士 ・患者と家族の会「つばさ」
2	平成22年 8月11日(水)		記憶・注意障害と その対応	リハビリテーションセンター 作業療法士
3	平成22年 10月13日(水)		遂行機能障害・社会的 行動障害とその対応	リハビリテーションセンター 作業療法士
4	平成22年 12月8日(水)		使える社会資源に ついて	金沢医科大学病院 ソーシャルワーカー
5	平成23年 1月12日(水)		就労支援について	障害者就業・生活支援 センター
6	平成23年 3月9日(水)		・家族の立場から ・家族会紹介	患者と家族の会「つばさ」

高次脳機能障害の方のご家族を対象に、障害に関する理解を深め交流することを目的に、今年度は1~2ヶ月に1回の頻度で家族教室を開催しました。

高次脳機能障害の症状やその対応法、使える社会資源等についてお話を聞き、理解を深めることができたかと思えます。

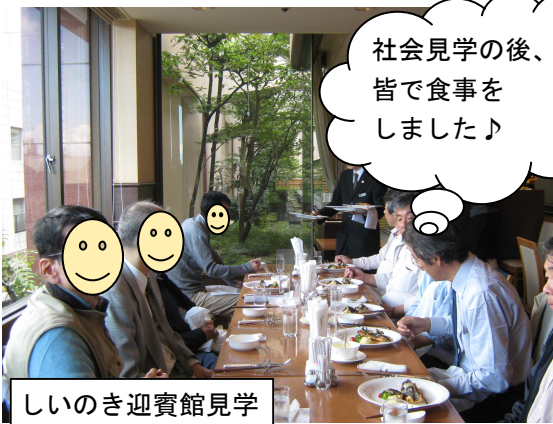
来年度の内容については今後計画していきたいと思っております。



生活支援教室について

一人一人に適した社会参加を支援することを目的に、毎週水曜日の10時から15時に、リハビリテーションセンター隣の「ほっとあんしんの家」で生活支援教室を開催しています。参加者が増え、参加目的が多様化してきていることから、今年度からは午後の時間を2グループに分け、個別の目標に応じた支援を実施しています。また、全体としてのプログラムの中には、様々なレクリエーションや季節に合わせた行事もあり、映画鑑賞に出かけたり、クリスマス会（クリスマスリース作りもしました）など、参加者全員で楽しみながら行うことができるプログラムもあります。

最近の教室の様子としては、参加メンバーから挙げた相談に対して、スタッフからだけでなく他の参加者からアドバイスが出るなど、互いに励まし合う場面もありました。皆で交流しながら過ごしています。



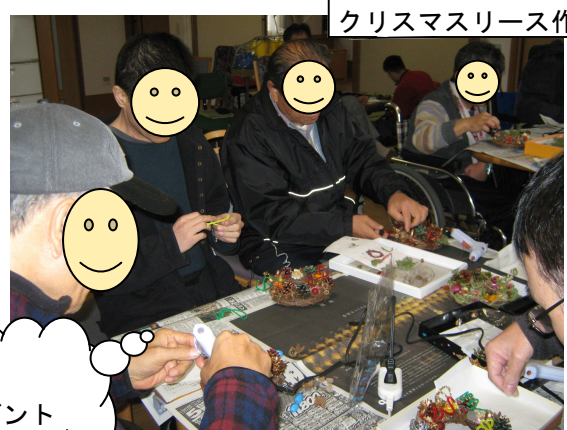
しいのき迎賓館見学



作業所見学



~午後の個別支援の様子~
パソコンや計算等、各々の目標に合わせて練習しています。



クリスマスリース作り

家族に
プレゼント
しよう!

☆講話会のお知らせ☆

生活支援教室では、下記の通り 講話会を開催します。記憶障害へのアプローチについて皆でお話を聞く予定です。講話会には、ご家族や支援関係者も参加できます。

参加される場合には事前に当センターまでご連絡ください。

「記憶障害に対するアプローチ ~代償手段と脳トレについて~」

講師：金沢医科大学リハビリテーション医学科教授 影近 謙治先生

日時：平成23年3月23日（水）13:00~15:00

場所：リハビリテーションセンター 4階 研修室



研修会報告

今年度、高次脳機能障害相談・支援センターでは、下記の通り研修会を開催いたしました。

研修会	日時	内容	対象者
専門職 研修	平成22年 7月31日(土) 13:30～15:30	講演「高次脳機能障害における地域支援ネットワークのあり方について」 静岡英和学院大学 人間社会学部 地域福祉学科 白山 靖彦 氏	医療機関、 就労関係機関、 市町、保健福祉センター等
普及啓発 研修	平成22年 11月13日(土) 14:00～16:30	講演「高次脳機能障害の理解とリハビリテーションについて」 成城リハビリテーションクリニック 長谷川 幹 氏 講演「家族としての体験談 ～可能性はゼロではありません～」 島根県脳外傷友の会らぶ 西村 敏 氏	当事者・家族、 医療機関、 就労関係機関、 市町、保健福祉センター等



【専門職研修】

関係機関が連携し包括的な医療・福祉サービスが行えるよう、地域支援ネットワーク構築に向けて研修会を開催しました。高次脳機能障害者の包括的なリハビリテーションネットワークである「三重モデル」の構築に携わられた白山先生からお話をお聞きしました。

～白山先生からのお話～

本人に社会的行動障害があると家族の介護負担感が高まります。当事者・家族に安心感を与えるためには、支援者間でしっかりと支援ネットワークを持つことが必要です。それによって当事者がリハビリへの意欲を高めることにつながりますし、支援者側の負担軽減やバーンアウト予防にも有効です。また、支援していく中で急性期から維持期へという一方向だけでなく、実施してきた支援についてフィードバックし関係機関同士で情報を共有することも必要です。



【普及啓発研修】

周囲の理解を十分に得ることで高次脳機能障害の方が地域でよりよく生活できるよう、障害の知識の普及を目的とし研修会を開催しました。当日は104名もの参加があり「主体性を大切にすることが重要なのだと感じることができた」「医療機関を退院された後、長い期間で改善していくということが分かった」「長い目で見てあげようと思った」等の感想が聞かれました。

～長谷川先生からのお話～

物事を進めていく時は、支援者間だけで決めず、当事者同士で話し合って内容や段取りを考えたり、交渉もしていけるような働きかけをして進めていけるとよいです。時間はかかってもよいので、本人達のモチベーションが出てくるまで、待つ関わりをすることが大切です。

～西村さんからのお話～

息子は、南米在学中に、事故により高次脳機能障害を負いました。帰国してからは、長谷川先生や友の会の人々との関わりの中で、本人のやりたいことに沿ったリハビリをしてきました。現在は和歌山県で、ヘルパーや学生ボランティアの支援を得ながら、一人暮らしをして大学生活を送っています。自分がやりたいこと、自分で決めたことなら頑張れますし、「モチベーション・自己実現・自己決定」に沿ったリハビリが大事です。

高次脳機能障害患者と家族の会 つばさ からのお知らせ

寒い冬・・・記録的な大雪・・・とも言われる冬となりましたが、皆さんどうお過ごしですか？つばさでは、毎月定例会を開催し、会員同士の交流、新しい情報の発信、情報交換を行っています。この障害について、どう向き合えばいいのか？どう対処すればいいのか？一緒に考えていきませんか？今年もこの障害で悩む方のお役に立てるよう、またこの障害があってもその人らしく生きていくことのお手伝いができるよう活動していきたいと思っています。

～ 今年度の活動 ～

☆年間行事 * 毎月の家族会定例会（第3日曜日 14時～）
* 会報発送 * 古新聞回収

☆その他行事

- 9月 5日（日）福祉の集い2010金沢へ参加
- 10月 3日（日）パイロットウォーク参加予定
- 10月23～24日（土、日）生活訓練キャンプ（於：イオックスアローザ）
- 12月12日（日）ヨガ教室とクリスマス会
- 2月26～27日（土、日）家族会反省会（於：大江戸温泉物語 片山津温泉ながしま）
- 3月20日（日）家族会定例会、ヨガ教室

家族会の場所は、
『ほっと安心の家
（リハビリテーションセンター隣）』
です



<連絡先>

金沢市久安2丁目429-2 あおいとリケアサービス内
TEL 076-247-5011
mail tsubasa@m2.spacelan.ne.jp

石川県高次脳機能障害相談・支援センターの案内

〒920-0353 石川県金沢市赤土町ニ13-1
石川県リハビリテーションセンター内
（石川県済生会金沢病院となり）
電話 076-266-2188
ファックス 076-266-2864
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.jp/koujinou/>

電話相談：月～金曜日 8時30分～17時15分
土曜日 8時30分～12時30分
面接相談：月～金曜日 8時30分～17時15分
（予約制）

（相談担当） 田中 豊島 加納

